



第15週9月22日(晴れ)

相鉄緑園グラウンド

第2試合【2回戦】港1勝1分  
3位争いの直接対決再び

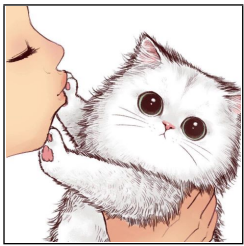
	(2)	(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	計	安打
港	1	1	1	0	0	0	3	(6)
浜風	2	0	0	1	0	0	3	(6)
	(3)	(0)	(0)	(2)	(1)	(0)		

浜風				港											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
2	犬塚	3	1		.367	5	工藤	2	1	1	.385				
1	川崎	2	1	1	.261	4	菅和	3	1		.348				
3	中路	3	1		.393	6	新川	2			.516				
7	亀田宏	2	2	2	.464	3	土屋	3	1		.517				
D	柳本	2			.267	8	高橋茂	3	1	1	.345				
4	太刀岡	2			.158	2	高橋季	3	1	1	.321				
5	山下	2			.174	7	田端	2			.385				
8	増田	2	1		.250	9	古川	2			.133				
6	樋高	2			.105	D	富岡	3	1		.179				
9	小林正	2			.182	1	早川	2			.148				
D	丸木	2			.056										
チーム計				24	6	3	.250	チーム計				25	6	3	.240

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
川崎	4	6	5	2	3	早川	6	6	1	2	3
山下	2			1							
チーム計	6	6	5	3	3	チーム計	6	6	1	2	3

晴天の下、再び0.5差を巡る3位争い。初回表先頭工藤が中前安打で出塁後盗塁し、高橋茂の右前適時打で1点先制。しかしその裏、浜風の先頭犬塚が左前安打で出塁し二盗三盗を成功後、川崎の左前適時打で同点。続く4番亀田の左前適時打で鮮やかに勝ち越す。2回表、田端・古川の連続四死球、富岡内野安打で満塁とする、1番工藤が押し出し四球で港が同点とする。3回表は土屋安打で出塁後2つの暴投で無死三塁とした場面で、高橋季の右前適時打で勝ち越し。4回裏、浜風はこの回先頭の川崎が四球で出塁後、中路・亀田の連続安打で1点を返し三度同点とする。5回裏には増田がバント安打で出塁後、三盗まで決め1死三塁の場面を作るが、小林正の三ゴロを港工藤が落ちて着いて本塁送球し、浜風に勝ち越しを許さない。その後試合は硬直状態となり、そのまま試合終了。中1日で2試合連続完投した港早川の力投虚しく、2度の3者残塁を喫した港が勝ちきれない試合となった。(湘南・山脇)



第3試合【3回戦】浜友2勝1敗  
浜友 優勝に向けて足踏み、最下位湘南に完敗

	(6)	(2)	(1)	(0)	(0)	(2)	計	安打
湘南	5	0	0	1	0	5	11	(11)
浜友	1	0	0	0	0	4	5	(7)
	(1)	(2)	(0)	(1)	(1)	(2)		

【勝】大川 3勝 5敗(4)  
【敗】斎藤 7勝 2敗(4)

MVP: 大川 V打点: 与儀  
本塁打: 古山2号・神田1号(湘南)  
本末3号(浜友)  
二塁打: 新垣・岡崎(湘南)・平野・石川伸(浜友)

浜友				湘南											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
8	佐藤寿	2			.222	6	山脇	3	1		.300				
6	磯	2			.233	8	与儀	2	2	1	.409				
4	平野	3	2	1	.444	3	新垣	3	2	4	.533				
5	石川伸	3	1	1	.438	5	古山	4	2	4	.370				
1	斎藤	3			.394	2	神田	4	1	2	.222				
2	本末	3	1	2	.394	9	高島	3			.154				
7	高須賀	3			.176	4	岡崎	3	2		.208				
3	斎藤公	2	2		.346	7	佐藤隆	3			.100				
9	椎野	2	1		.250	D	弘中	2			.000				
D	四方田	2			.200	1	大川	2	1		.100				
D	小林孝	2			.080										
チーム計				27	7	4	.259	チーム計				29	11	11	.379

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
斎藤	3	9		3	5	大川	6	7	2	2	5
石川伸	2			3	1						
平野	1	2	3		5						
チーム計	6	11	6	4	11	チーム計	6	7	2	2	5

主力の田中の不在がこれほどまでと感じたのではないだろうか?捕手に未経験の本末を起用する苦しい布陣。エース斎藤も立ち上がりは制球に苦しむ。山脇、与儀の連続内野安打、新垣三塁打、古山安打、神田本塁打の五者連続であっという間に5失点。下位打線に回ってなんとか踏み留まる。浜友は磯の四球を足場に1点を返すのがやっと。2回以降お互いにランナーは出すものの立ち直り0で凌ぐ。浜友は4回、早めの投手交代で石川伸がマウンドへ。しかし、立ち上がりの制球難で押し出しの失点。流れは浜友には来ない。6回、浜友は初登板になる平野をマウンドへ。立ち上がりは投ゴロ二つで早々と二死となるが大川に四球を与えると連続四球で満塁とし、新垣の巧打、監督古山の本塁打で湘南はお祭り騒ぎ。これで気が緩んだのかいつもの悪い癖が出たのか大川が2死までいきながら本塁打まで打たれ4失点。表の5点があっけよかったねという感じ。されどMVPは5回までの好投が認められ大川が選ばれた。〔港 早川〕



5失点ながら6回完投 (大川)

